

安全データシート（SDS）

1. 製品及び会社情報

製品名 : りん酸二水素アンモニウム（りん酸一アンモニウム 第一リン酸アンモニア）
会社名 : 全国農業協同組合連合会
担当部署 : 耕種資材部
住所 : 〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 JAビル 33F
電話 : 03-6271-8285
FAX : 03-5218-2536
電子メールアドレス : zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡先電話番号 : 03-6271-8285

使用上の制限 : 肥料用途以外には使用しないでください。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性固体 : 区分外
自然発火性固体 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性（経口） : 区分外
急性毒性（経皮） : 区分外

絵表示又はシンボル : 該当なし

注意喚起語 : 該当なし

危険有害性情報 : 該当なし

注意書き

【安全対策】

保護眼鏡、保護手袋、保護衣、呼吸用保護具を着用すること。

【応急措置】

該当なし

【保管】

直射日光を避け、容器を密閉して冷暗所に保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「分類対象外」、「区分外」又は「分類できない」である。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	: 単一製品
化学名	: リン酸二水素アンモニウム (別名) リン酸一アンモニウム、リン酸アンモニウム、 第一リン酸アンモニウム (英名) Ammonium dihydrogen phosphate、 Ammonium dihydrogenorthophosphate (EINECS 名称)、 Phosphoric acid, ammonium salt (1:1) (TSCA 名称)、 Monoammonium phosphate、 Phosphoric acid dihydrogen ammonium salt
成分及び含有量	: リン酸二水素アンモニウム、 99.0%以上
化学式及び構造式	: NH ₄ H ₂ PO ₄
分子量	: 115.03
官報公示整理番号 化審法	: (1)-379
安衛法	: 公表化学物質 (化審法番号を準用)
CAS No.	: 7722-76-1
EC No.	: 231-764-5
危険有害成分	: 特になし

4. 応急措置

吸入した場合	: 呼吸が困難になった時は、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	: 皮膚を流水と石鹼で洗う。皮膚刺激などが生じた時は、医師の処置を受ける。
目に入った場合	: 直ちに水で15分以上注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼刺激が持続する時は、医師の治療を受ける。
飲み込んだ場合	: 口をすすぎ、うがいをする。 コップ数杯の水を飲ませ、指を喉に差し込んで吐かせる。 気分が悪い時は、医師の手当てを受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状 : 情報なし

5. 火災時の措置

消火剤	: この製品は不燃性である。周辺火災に種類に応じて適切な消火剤を用いる。 散水、噴霧水、泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤、乾燥砂
使ってはならない消火剤	: 棒状放水 (本品があふれ出し、環境汚染を引き起こすおそれがある。)

- 特有の危険有害性 : 火災によって有害なガス、ヒュームを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
風上から消火活動をする。
環境への流出をできるだけ防止する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め適切な防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

- 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
- 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
- 危険な現場を分離して無関係者及び保護具未着用者の出入りを禁止する。
- 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
- 風上に留まる。
- 低地から離れる。
- 密閉された場所に立入る前に換気する。

環境に対する注意事項 : 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
環境中に放出してはならない。

回収、中和 : こぼれた物質を密閉式容器に掃き入れ、安全な場所に移す。後で、廃棄処理する。

封じ込め及び浄化の方法・機材 : 危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策 : 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。
粉じん、ミスト、蒸気、ガスの発生を防止する。

局所排気・全体換気 : 必要に応じて、換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。

安全取扱い注意事項 : すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
排気用の換気を行うこと。
皮膚、粘膜等に触れると、炎症を起こすことがある。
目や口に入ると刺激を受けることがあり、使用の際には十分気を付けること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

接触回避 : 湿気、水、高温体との接触を避ける。

保管

技術的対策 : 採光、照明及び換気の設備を設ける。

混触危険物質	: 強アルカリ性物質
保管条件	: 冷暗所に保管すること。 直射日光を避けて保管すること。 容器を密閉して保管すること。 強アルカリ性物質と離して保管すること。
容器包装材料	: ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラスなど

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない。
安衛法	: 公表化学物質（化審法番号を準用）
CAS No.	: 7722-76-1
EC No.	: 231-764-5
危険有害成分	: 特になし

予想される急性症状及び遅発性症状 : 情報なし

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）: 日本産衛学会（2015年版） 設定されていない。
ACGIH（2015年版） 設定されていない。

設備対策 : この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。
粉じん、蒸気、ガスなどが発生する場合、換気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具	: 呼吸器保護具（防じんマスク）を着用する。
手の保護具	: 保護手袋（ニトリル製、塩化ビニル製など）を着用する。
眼の保護具	: 保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業衣を着用する。必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。
衛生対策	: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	: 白色の結晶又は結晶性粉末
臭い	: 無臭
pH	: 酸性（pH=4.0~4.5、5w/v%水溶液、25℃）
融点	: 約 190℃（170℃より徐々に分解）
沸点	: 分解
引火点	: 不燃性
爆発範囲	: データなし
密度	: 1.8 g/cm ³ （20℃）
溶解度	: 水に溶けやすい（18.2g/100g、0℃）。 エタノールにほとんど溶けない。
オクタノール/水分配係数	: データなし自然発火
温度	: 非発火性
分解温度	: 190℃（メタリン酸アンモニウムに変化）

粘度 : データなし

GHS分類

可燃性固体 : 本品は不燃性であることから、区分外とした。

自然発火性固体 : 本品は不燃性であることから、区分外とした。

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常取扱条件において安定である。
水溶液は弱酸性である。
190℃に加熱すると融解しアンモニアと水を放って分解を始め、メタリン酸アンモニウム(NH₄P₃)_nに変化する。

危険有害反応可能性 : 強アルカリ性物質と混触すると、反応する。

避けるべき条件 : 日光、熱

混触危険物質 : 強アルカリ性物質

危険有害な分解生成物 : 燃焼等で強熱分解すると、アンモニア、窒素酸化物、酸化りんを発生する。

11. 有害性情報

急性毒性 : 経口 ラット LDLo=4640mg/kg 傾眠(全身活動度の低下) (RTECS)
飲み込んでも毒性は低いので、区分外とした。
経皮 ウサギ LD50>4640mg/kg (RTECS)
皮膚から吸収され難く毒性が低いので、区分外とした。
吸入(粉じん) データがないので分類できない。
大量に吸入すると、鼻、のど、気道を刺激することがある。

皮膚腐食性・刺激性 : データがないので分類できない。

眼に対する重篤な損傷・刺激性 : データがないので分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データがないので分類できない。

生殖細胞変異原性 : データがないので分類できない。

発がん性 : IARC、ACGIH、NTP、OHSАに記載がないので分類できない。

生殖毒性 : データがないので分類できない。

特定標的臓器・全身毒性
(単回ばく露) : 情報が無いので分類できない。

特定標的臓器・全身毒性
(反復ばく露) : 情報が無いので分類できない。

吸引性呼吸器有害性 : データがないので分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性 : データ不足のため分類できない。
水に溶けやすいため、水生環境へ容易に拡散する。

水生環境慢性有害性 : データ不足のため分類できない。

オゾン層への有害性 : 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。
都道府県知事などの許可（収集運搬業許可、処分業許可）を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付して廃棄物処理を委託する。
廃棄物の処理にあたっては、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上、処理を委託する。
必要に応じて、廃棄の前に可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。

（参考）中和法

水に溶解し、炭酸ナトリウムなどのアルカリで中和し、大量の水と共に排水処分する。
排水に際し、水質汚濁防止法の排水基準に適合すること。

- 汚染容器及び包装 : 容器及び包装材は、関連法規の基準に従って適切に処分する。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国内規制（適用法令）

- 陸上規制 : 特段の規制なし（非危険物）
海上規制 : 特段の規制なし（非危険物）
航空規制 : 特段の規制なし（非危険物）
国連番号 : 非該当
国連分類 : 非該当
品名 : 非該当
海洋汚染物質 : 非該当
特別の安全対策 : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。重量物を上積みしない。

15. 適用法令

- 労働安全衛生法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
消防法 : 非該当
化学物質管理促進法 (PRTR 法) : 非該当
船舶安全法 : 非該当
航空法 : 非該当
海洋汚染防止法 : 非該当

水質汚濁防止法

: ①有害物質（施行令第二条）

「アンモニウム化合物」

〔排出基準〕 100mg/L（アンモニア性窒素×0.4、
亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量）

②生活環境項目（施行令第三条の第一項）

「水素イオン濃度」

〔排出基準〕・海域以外の公共用水域に排出されるもの
5.8 以上 8.6 以下

・海域に排出されるもの 5.0 以上 9.0 以下

「りんの含有量」

〔排出基準〕 16mg/L（日間平均 8mg/L）

（注）排出基準に別途、条例等による上乘せ基準がある場合は
それに従うこと。

輸出貿易管理令

: 別表第1の16項（キャッチオール規制） 第31類 肥料

HSコード（輸出統計品目番号、2016年1月版）：3105.40-000

「オルトリン酸二水素アンモニウム（りん酸一アンモニウム）」

16. その他の情報

（注）本品を肥料以外には使用しないで下さい。

参考文献：

化学物質管理促進法 PRTR・SDS 対象物質全データ	化学工業日報社
労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ	化学工業日報社(2007)
化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
安衛法化学物質	化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版)	医歯薬出版
化学物質安全性データブック	オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編)	三共出版
化学物質の危険・有害性便覧	労働省安全衛生部監修
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM	
GHS 分類結果データベース	nite (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHS モデル MSDS 情報	中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

このデータは作成の時点における知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何ら保証をなす
ものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。

本 SDS は、下記清和肥料工業株式会社の情報を元に作成しました。

該当物質については、下記にお問合わせください。

会社名 : 清和肥料工業株式会社

連絡先 : 海外事業本部

住所 : 大阪府大阪市中央区備後町4丁目3番4号 大阪タイガービル 6F

電話番号 : 06-6203-6811

FAX 番号 : 06-6229-0359

緊急連絡先 : 06-6203-6811